HSGローカルルールの改訂箇所及びその背景及び目的

2024.4.25　エチケット委員会

No.	HSGローカルルール改訂箇所		改訂の背景及び目的
	現行	改訂	
1	HSGローカルルールとして規定なし。 （JGA規則R14.1は、プレーヤーか、プレーヤーが認めた人が球を拾い上げることができる。グリーン上の球に限ってはプレーヤーのキャディーはプレーヤーの許可なしに球をマークして拾い上げることができる。）	２．バンカーとパッティンググリーン 第6項追加。 プレーヤがグリーン上にいない場合、同伴競技者がマークして球を拾い上げることができる。その球をプレーヤーに渡し、プレーヤーがリプレースできる。	プレーヤーがグリーンから離れた場所に居てグリーンに来るまでに時間が掛かり、プレーヤーの球が同伴競技者のパッティングライン上にある場合、プレーヤーが来るのを待つと時間がかかる。これを避けるため、グリーン上にいる同伴競技者がマークして球を拾い上げて次の同伴競技者が早くパッティングできるようにする。拾い上げた球は、プレーヤーに渡し、プレーヤーがリプレースしてパッティングを行う。 （プレー時間短縮の効果あり。）
2	4.1 特設ティーがあるホールにおいて、ティーショットでＯＢまたは紛失球を発生させた場合は、第４打を特設ティーから打つことができる。	4.1 OB、ペナルティエリア打ち込みまたは紛失球に対する特設ティーがある場合、そのローカルルールの罰打をもって、特設ティーから打たねばならない。	現行ルールでは、OBまたは紛失球を発生させた場合に特設ティーから必ずしも打つ必要はなく、打ち直しも選択肢としてあったが、改訂ルールでは、打ち直しは認めず、特設ティーから打たねばならないとした。またペナルティエリアへ打ち込んだ場合も特設ティーから打たねばならないとした。　（プレー時間短縮の効果あり）
3	4.2 OB球または紛失球に対して、２打付加して、OB球の位置または紛失したと思われる場所から、ホールに近付かないコース内にプレースして打つことができる。OB球・紛失球の位置は、同伴競技者と合意した位置とする。	4.2 OB球または紛失球に対して、２打付加して、OB球の位置または紛失したと思われる場所から、ホールに近付かないコース内にプレースして打たねばならない。OB球・紛失球の位置は、同伴競技者と合意した位置とする。	現行ルールでは、OBまたは紛失球を発生させた場合にその場での打ち直しも選択肢としてあったが、改訂ルールでは、打ち直しは認めず、OB球の位置、または紛失したと思われる場所から打たねばならないとした。（プレー時間短縮の効果あり）
4	5.1 最大スコアはパーの３倍とし、ギブアップ宣言によりそのホールを終了することができる。	5.1 最大スコアはパーの2倍＋2打とし、ギブアップ宣言によりそのホールを終了することができる。	現行ルールはギブアップ時の最大スコアはパーの3倍であるが、A組会員より最大スコアの低減要請があり、改訂ルールではパーの2倍＋2打とした。（即ちパー５では１２打、パー４では１０打、パー３では８打とする。） （プレー時間短縮の効果あり。）